

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 知多市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考			
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等					
				指標	実績数値	指標	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②				
巡回・窓口相談指導事業	日本経済の景気は徐々に上向きつつあるが、個人経営を営む小規模事業者がその恩恵の実感が湧かないのが現実であり、小規模事業者を取り巻く環境は依然として厳しいものがある。融資制度の給付、財務分析による経営指導、国の補助金制度を活用した経営改善を中心に、経営安定化を図るため市内小規模事業者に対して相談事業を実施することを目的とする。	・巡回窓口相談指導延件数 1927件 ・課題解決提案件数30	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 132.2%)	1458	1927	指標 課題解決提案件数 (達成度 100.0%)	30	30	新型コロナウイルスの影響を受けた小規模事業者に対し巡回や窓口を通して、国、県、市の支援策を活用して支援を行うことにより着しい経営の悪化を免れた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	小規模事業者への5年に1回の訪問を基本姿勢とし、継続指導の必要性がある事業所への複数回の訪問を行うことで指導メソッドの普及に努める。
記帳継続指導	商工会の職員が個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と計数管理による経営力の向上に結びつけることを目的とする。	・記帳継続指導延回数 1,201回 ・指導企業数 88件 ・指導日数 686日	小規模事業者	指標 記帳継続指導延数 (達成度 114.4%)	1050	1201	指標 (達成度 %)			正しい記帳による、自社の正確な経営・財務状況の把握及び適正な税務対策の講じ方の習得ができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 B	補足	目標① 下げる	目標② 実施方法① 実施方法②	現行どおりの方法で行うが、指導事業者減少に伴い目標指導回数を引下げ、委託者のニーズを汲み取るよう心掛けたい。
講習会	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	・集団指導 3回 31人 ・個別指導 15回 48人	小規模事業者	指標 講習会受講者数 (達成度 55.6%)	142	79	指標 (達成度 %)			・集団講習会については、新型コロナウイルスの影響で中止せざるを得ない講習会もあり、全体の受講者は減少したが、UPORに必要な知識の普及は図れた。 ・個別相談会については、新型コロナウイルスの影響等でニーズが高まり参加者が増加した。小規模事業者のより具体的な相談事や質疑応答等で解決した。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 A 目標達成度 C	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	小規模事業者のニーズに対する収集力を高めると共に、より多くの事業者に効率良く受講して頂けるように努める。
祭典事業	地域産業を広く紹介し、産業の発展を図るとともに、市民とともに明るく住みよい豊かな地域社会を築くことを目的とする。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	小規模事業者	指標 参加事業者数 (達成度 - %)	50	-	指標 (達成度 %)			新型コロナウイルス感染症による中止のため評価なし。	総合評価 -	実施評価 -	自己評価 - 目標達成度 -	調査結果 事業者への 必要性 -	満足度 -	補足 新型コロナウイルス感染症による中止のため評価なし	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	目標とする参加事業所を50事業所とし、参加事業者がより参加し易い環境を整備し、小規模事業者の経営の一助となるよう支援していく。
部会・委員会事業	各種委員会による活動を通じて改善意識の啓蒙と参加事業者に対する資質向上効果を目的とする。	・総代会 1回（書面）97名（内書面93名） ・理事会 6回（内書面1回）143名（内書面28名）	構成委員及び該当事業者等	指標 参加企業数 (達成度 75.0%)	320	240	指標 (達成度 %)			事業への参画意識による経営資質の向上が図られた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	引続き事業への参画意識による経営資質向上に努める。
地域振興事業	地域における懇談や会員仲間づくりネットワーク化事業等による会員相互の交流促進で組織基盤の強化を図り、年賀会等地域に係る方々との交流会などを実施することで地域全体の活性化を図ることを目的とする。	・商工女性懇談会 1回 7名 ・会員日帰り旅行 1回 10名 ・会員交流ゴルフ 1回 40名	小規模事業者	指標 各事業参加者数 (達成度 31.7%)	180	57	指標 (達成度 %)			新型コロナウイルスの影響で中止せざるを得ない行事があり回数及び参加者は減少したが、コミュニケーション効果による組織基盤の強化を図ることができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 A 目標達成度 D	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	組織強化に重点をおいた交流を図ることを目的として改善を図ってきたい。
青年部育成事業	若くして独立した経営者や、親の事業を承継予定の若者は、社会経験が乏しく、また、経営に関する知識が不足しており、将来の経営に支障をきたすことが予想される。青年部を通じて、上記問題を解決するため、経営に関する勉強会を開催し、資質向上に努めることを目的とする。	・勉強会 1回 16人 ・職業体験事業 0人（中止） ・地域貢献事業参加 0人（中止）	小規模事業者	指標 事業参加人数 (達成度 - %)	80	-	指標 (達成度 %)			コロナ禍において参加予定の事業が全て中止となったため、次年度以降の取り組みに対し、定例会議などで検討や対策を練る良い機会になった。検討した結果を用いて、感染症対策を施しながら、次年度事業につなげていきたい。	総合評価 -	実施評価 -	自己評価 - 目標達成度 -	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 -	補足 新型コロナウイルス感染症による中止のため評価なし	目標① 上げる	目標② 実施方法① 実施方法②	コロナ禍においても実施できるように対策を施し、地域貢献や経営に関する勉強会などを実施することで、経営者としてさらなる資質向上および、部員同士の連携強化を図りたい。
福利厚生事業	事業所の経営・雇用の持続的な安定を図るため、各種共済制度の普及を通して、事業所の健全な育成に資することを目的とする。	各共済について、事業所に適した共済を勧奨した。 ・加入 53件 ・廃業、任意解約 53件 ・各種共済加入件数 1,110件	小規模事業者	指標 各種共済加入件数 (達成度 96.5%)	1150	1110	指標 (達成度 %)			各共済について、事業所に適した共済を勧奨したことにより、事業所の経営・雇用の持続的な安定を図ることができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 B	補足	目標① 下げる	目標② 実施方法① 実施方法②	目標とする各種共済加入件数を1140件とし巡回・窓口指導により小規模事業者に適した共済の加入勧奨に努める。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 知多市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													備考		
				目標①			目標②			得られた効果	総合評価	事業評価	A B C D評価			今後の展開・改善点等			
雇用促進事業	小規模事業者にとって有能な人材を確保することは、なかなか困難である。求人情報を活用することで、募集活動の一助とし、雇用機会の安定を図り、経営安定に資することを目的とする。	求人情報事業として、知多市便利帳（ホームページ）・知多市役所高齢者職業支援室にて情報提供し労働力確保への支援を行うことができた。	小規模事業者	目標① 求人情報事業 求人情報掲載件数 (達成度 86.7 %)			目標② (達成度 %)						小規模事業者としての広報宣伝力の弱さを補うものとして、求職希望者への、求人情報提供ができた。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価	事業者への 調査結果	満足度	補足
				目標数値	45	実績数値	39	目標数値		実績数値		B				B		現行どおり	
人材育成事業	珠算検定事業を実施することで、次世代の能力開発を目的とする。	6月16日 中止 9月13日 受験者 8名 11月15日 受験者 15名 2月21日 受験者 14名	珠算検定試験 受験者	目標① 受験者数 (達成度 46.3 %)			目標② (達成度 %)			若年層への能力開発の一助となった。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価	事業者への 調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	少子化、習い事の多様化により受験者の減少は確実である。実施方法は、全国商工会珠算検定主催
				目標数値	80	実績数値	37	目標数値					実績数値				B	B	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。